

# 目次

1. 創作動機	3
2. 創作理念とあらすじ	4
3. 自分の感想と収穫	7
4. 参考文献	9

# 1. 創作動機

中学生の時、SNSの普及とともに、台湾のことはもちろん、ネットで外国のニュースや番組も簡単に調べられた。私がホラー映画や怖い話など心霊現象に関することに興味深いので、それらに関わるウェブサイトをよく見た。

今もよく見たのはPTTという掲示板。自分自身の不思議な経験、創作したストーリー、日本のにちゃんねるで掲載された文章の翻訳など、心霊現象に興味がある人たちはPTTで色々な話を分かち合っていて討論する。私は特に日本の怪談と都市伝説が好き。その話が真実かどうかを気にしない、逆に、そのような似て非なるものをはまっている。

都市伝説と怪談は少し違う。都市伝説は現代社会で起こった事件、日常生活に出会った不思議なことを設定して、その内容と幽霊や化け物や鬼などと関係ない場合が多い<sup>1</sup>。現代社会の社会問題、国の文化と慣わし、或いは毎日放送しているニュースなど、それらも都市伝説を構成できる。

三年生の時に、陳文瑤先生の総合日本語Aを受けた。授業で宮本みち子さんの『若者が無縁化する』という本を読んだ。本の内容は、現代社会で若者たちが出会った就職についての困難から、日本経済の歴史、経済に関わる社会問題まで詳しく説明する。その本を読んだ後、台湾にも似合う問題があるかなと思って、この前より、今生きている社会のことを関心している。

近代社会で、貧富の格差、労働争議、学校と職場のいじめなど社会問題はよく見える。そして、それぞれの社会問題にも関係がある。社会問題の原因何か、その問題の解決策があるか、学生としての私とその社会のために何を助けるのか、ずっと考えている。

それで、都市伝説の形式と社会問題に基づいて、この作品を創作した。「自分の力で、好きなことを使って、伝えたい話を言い表す。」この作品は、そういう気持ちで完成した。わざと書かれた物語が本当の都市伝説とみなされないのが、作品のテーマは「偽」を加えた。

台湾人も、日本人も、各年齢層の人たちはきっと自分の悩みとむつかしさがある。その作品の五つのストーリーは、私と周りの人たちの経験、SNSで読んだ文章やニュースから生まれたひらめきによって書かれた。作品の内容がちょっと苦しい話題を表すけど、今世界のどこで、それと似合うことが起こっているかもしれない、それは私が言いたいことだ。もし、読者がその作品から何かを得られれば、それは私の光栄だ。

---

<sup>1</sup> 参考資料：都市伝説 - Wikipedia

## 2. 創作理念とあらすじ

この作品は五つの物語が組み合わせられている。物語の内容は都市伝説の形式と社会問題に基づいて、私と周りの人たちの人生経験、ネットで見た文章やニュースから生まれたひらめきによって書かれた。

作品は、都市伝説と同じ、「友達の友達」など身近なようで実際には顔も名前も知らない人々に起きた出来事として語られる奇妙な噂話、随筆の形式で現代社会の各年齢層の皆様が会うかもしれない困難と社会現象を述べる。

臨場感溢れる雰囲気を作りたいから、大部分の物語が一人称視点で創作された。都市伝説の特徴を応用するために、物語は一人称視点として主人公と身近な人が出会ったことを語るけど、その人物と事件の詳しい情報を説明しない。書かれた内容が架空の物語か、現実でそれと似ている話があるかもしれないか、そのような似て非なるものを作り出した。

年齢を重ねて、出会う人、物、事も変わる。小さい頃ずっと悩んでいたことは、今思い出せば、何でもないと言われる。逆に、若者が簡単にできたことは年寄りに対して、完全な見知らぬものかもしれない。この五つの物語の主旨は、現代社会で各年齢層の人たち（小学生、中学生、高校生、20代の若者、壮者）が遭遇した問題と社会現象の影響を表す。

小学の子供たちは、人生の初めて家族以外の同輩と付き合っ、団体生活を体験する。輪に溶け込めないこと、クラスメートと先生からのいじめなど、たくさんの小学生が悩んでいるのは人間関係に関する問題。どうやって解決するか、誰か助けてくれる、子供たちに対して、それらの問題は難しすぎる。そして、あの時の悪い記憶も子どもの人生に影響している。

この作品の一番目の物語「師範代」は、主人公が小学生の時に遭ったいじめを語る。主人公小学生の時、家庭の貧困によって、欲しいものがいっぱいあるけど、ずっと買えなかった。だから、毎回学校の同輩たちが新しいおもちゃを持って来た時、羨ましいなあと思わないことは有り得ない。ある日、クラスで新しい師範代が来て、あの先生はおもちゃを持って来て学生が嫌いだ。

「師範代」を通じて伝えたいのは、学生時代で同輩と先生の重要性だけではない。家庭の貧富の差も現代社会の一つの問題だ<sup>2</sup>。貧困のせいで、子供は欲しい物を買えないし、修学旅行に参加できないし、教科書さえ支払えない場合もある。貧困は世代間で連鎖する

---

<sup>2</sup> 参考資料：データで見る教育格差。子どもの貧困問題がますます深刻化している実状とは

と言われており、親世代が貧困であれば子どもの生活にも影響を与える。特に成長過程での影響は大きく、身体だけでなく心にも影響を与えてしまう。

思春期と反抗期の中学生はよく私がもう大人になったと思うけど、まだすごく未熟な少女だ。未熟者にとって、学校生活が一番大事なことだ。14歳、15歳の中学生が悩んでいるのは人間関係の悩みに加えて、学業や進学からプレッシャーもある。現代社会では、校内暴力や仲間はずれに起こった事件をよく見かける。

作品の二番目の物語「呪いのメッセージ」は中学生の間のいじめに起こる話。数年前にSNSが流行っていたばかり、中学生の間に、呪いのメッセージといういたずらがあった。メッセージの内容は、大体そのような感じ「私は〇〇〇です。〇〇年x x月x〇日に生まれました。〇〇歳の時、交通事故があって、死んだ。このメッセージを読んだ後、10位の友達に伝えてください。しなければ、あなたの家族は、怖いことに遭遇する。」もし、このいたずららしいメッセージは本当の呪いと言ったら、信じているか。

「呪いのメッセージ」は私中学生の時、SNSで流行っていた変なメッセージから生まれたひらめきによって創作した物語。今思い出したら、ただ子供のいたずらと思うけど、あの時読んだ始めたばかりの私にとって、そのメッセージが嘘かどうかわからないでも、シェアしたほうが良いと思う。最初に呪いのメッセージを伝えた人が何か考えいたかずとわからないどおり、面白そうから、つまらないから誰かいじめることが全然理解できない。今でも、校内暴力といじめは頻発する。テクノロジーが進歩していると共に、人のこころも複雑になっている。社会、学校と政府は校内暴力に関する対策に注目しなければならない。

中学校を卒業して、高校に入ると、高校生に迎えるのはもっと厳しくて残酷な学業のストレス。文系と理系どちらがいいか、わたしが適切なのは進学とか仕事とか、その学科を選べば、いい仕事を探せるかな、高校生たちは、毎日そのような悩みを考えている。そして、高校生の中で、恋愛に関わる話題もよく話している。思春期の少女が幸せな恋愛に憧れるのが当然だが、他人の感情を利用する人、一時の出来心で間違ふことをする人は存在している。私にとって、高校時代で苦しいことがいっぱいあるけど、その三年間はすごく珍しい思い出だ。

三番目の物語「月刊コミック」はちょっと悲しい物語だ。大学の寮に住むために、友達の椿ちゃんを呼んで、荷物を整える。整理する途中に、椿ちゃんは本棚に置く漫画を読んできて来る。高校生の時、私が月刊コミックをはまっていたので、本棚にもいっぱい置く。椿ちゃんもその月刊を読んだことがある、「その月刊で連載した作品の中で、怪しい漫画がある。」と言った.....

「月刊コミック」はうつ病とパワーハラスメントについて話している。台湾 2017 年の林奕含事件<sup>3</sup>に基づいて創作した物語。ストーリーで、漫画家が実際に何を遭遇したか説明しなくて、作品のキャラクターと漫画家の関連性も検証できないけど、確かに何か遭ったという雰囲気を作りたい。現実にはきっと作品に書かれた内容より残酷だ。私がこの物語で話したいのは、女性も男性も、そういう不合理なことが遭遇する時、一人に堪えないで、誰かに手助けを求めよう。

高校を卒業して、成年に達すると、20 代の若者がもっと堅苦しいストレスを担う。家族を離れて、大学に入って、初めて寮に住むこととか、生活を支えるために、休みの日にアルバイトをすることとか、卒業した後、何をやっているのか悩んでいるとか、20 代の若者に対して、社会人になったと共に、将来を心配している気持ちもどんどん増える。今大学四年生の私にとって、一番心配しているのはやはり仕事に関わる問題だ。興味があるので日本語を選べたが、どうやって自分の能力とスキルを使って、適切な仕事を探せるかまだ迷っている。

この作品の四番目の物語「ストーカー」が言いたいのは一人暮らしの危険性とメンヘラ。クンちゃんは大学生の時、メイドカフェでバイトをした。あの時、常連客の W さんと出会った。クンちゃん最初はただ距離感がないお客さんと思われたが、W さんがクンちゃんのことをもっと近づいて欲しいと言って、ストーカーのようなこともやっていたから、彼女はすごく怖がっていた。時間を過ごして、卒業して他の地域で生活するクンちゃんはどんどん元気になる。でも最近、彼女は何か悩んでいる感じ.....

2020 年の 12 月、台湾で、「跟蹤騷擾防制法<sup>4</sup>」という法律が可決された。日本のストーカー規制法<sup>5</sup>と同じ、跟蹤騷擾防制法はつきまとい、待ち伏せし、拒まれたにもかかわらず、連続して、電話をかけるなどの行為を規範する法律。跟蹤騷擾防制法が可決された前に、被害者を傷つけないので、警察がストーカーを逮捕できない例は多い。防制法の可決をかけて、つきまとわれた人を守れる。しかし、現実で「ストーカー」の W さんのような怖い人がいるかもしれないから、一人暮らしの人たちはもっと注意したほうがいいと思う。

30 代、40 代の人たちは壮年になった。自分のことしか考えないじゃなくて、彼らは子供を養ったり、親の面倒を見たり、たくさんのストレスを担う。コロナを始めた 2020 年から、世界的な経済不況の状況につれて、物価と不動産価格の上昇はたくさんの人に影響している。コロナのせいで、航空業、観光業、飲食業は急に厳しい事態になって、他の産業も多かれ少なかれ影響された。ニュースで、一家の暮らしを支える人が突然に失業者になって、絶望して自殺するというのを時々見える。現実には想像できなくて残酷だ。でも、

---

<sup>3</sup> 参考資料：林奕含事件 - Wikipedia

<sup>4</sup> 参考資料：全國法規資料庫-跟蹤騷擾防制法

<sup>5</sup> 参考資料：ストーカー行為等の規制等に関する法律

人々はきっと現実に倒れないように一生懸命頑張っていて、良い未来を向こう。それを私は信じている。

五番目の物語「ベベちゃんの絵日記」は子供の視点で生活難がある家族の状況を述べている。ストーリーのあらすじ：私は幼稚園の先生。勤めている数年間で、色んな子供たちと出会ったけど、一番印象が深める子供はベベだ。ベベはすごく特別な子供、先生に面倒をかけないし、他の子供たちが嫌いな宿題も楽しくて完成した。毎週月曜日、子供たちは絵日記を出す。ベベが描いた内容は大体簡素な家族の日常生活。でも最近、彼女の絵日記の内容はちょっと変な感じ.....

「ベベちゃんの絵日記」はWebtoonで連載する漫画『禁日』の第五十五回の「訊息」<sup>6</sup>から生まれたひらめきによって書かれた。

『ある人の話－人間の怖さ・偽都市伝説の創作』はこの五つの物語で構成される。作品を創作していた途中に、都市伝説の面白さと創作の熱意をもう一度感じた。久しぶりに自分が好きなものを書いたので、すごく嬉しい。

### 3. 自分の感想と収穫

自分の力で大切だと思うことを人に伝えたいので、『ある人の話－人間の怖さ・偽都市伝説の創作』を書いた。

小さい頃から、都市伝説や怪談に関する文章をよく読んでいたが、そのような物語を書くことは初め、長い文章の翻訳と本の組版も初めだった。なので、作品を作っていた時に、色んな困難に直面して、解決しなければならなかった。中国語母語話者の私にとって、一番難しい部分は翻訳だ。いつも中国語で文章を書いているので、翻訳していた時も無意識に普通の考え方でやってしまっていて、中国語を日本語に100%訳したかったので、ずっと悩んでいた。そのために、張先生のアドバイスを聞いて、武蔵野大学と学習院大学の実習生と相談した。彼らのおかげで、翻訳に関する問題を解決し、大いに収穫があった。

表紙デザインは妹の協力で完成した。半分以上の物語は主人公が学生時代に遭遇したことを表すので、台湾の小学生がよく使うワークブックを参考して、表紙を完成した。

---

<sup>6</sup> 参考資料：『禁日』の第55回の「訊息」

『ある人の話－人間の怖さ・偽都市伝説の創作』はただ人生の辛いところを表す。でも、どんなに苦しみの中でさえも、一つ一つ小さな幸せが輝いている。私はずっとそう思っている。

最後に、『ある人の話－人間の怖さ・偽都市伝説の創作』を読んだ皆さん、そして、この作品を完成するために助けてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

## 4. 参考資料

1. Wikipedia で都市伝説の定義が記載されている。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%83%BD%E5%B8%82%E4%BC%9D%E8%AA%AC>

2. 「データで見る教育格差。子どもの貧困問題がますます深刻化している実状とは」で家庭の貧富の差という社会問題が派生する問題が記載されている。

[https://gooddo.jp/magazine/poverty/children\\_proverty/59/](https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/59/)

3. 「月刊コミック」は林奕含の事件から生まれたひらめきによって書かれた。

<https://zh.wikipedia.org/zh-tw/%E6%9E%97%E5%A5%95%E5%90%AB%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

4. 「全国法規資料庫-跟蹤騷擾防制法」で跟蹤騷擾防制法の詳しい内容が記載されている。

<https://law.moj.gov.tw/LawClass/LawAll.aspx?pcode=D0080211>

5. 「ストーカー行為等の規制等に関する法律」でストーカー規制法の詳しい内容が記載されている。

[https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=412AC0100000081\\_20220617\\_504AC0000000068](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=412AC0100000081_20220617_504AC0000000068)

6. 「ベベちゃんの絵日記」は『禁日』の第55回の「訊息」から生まれたひらめきによって書かれた。

[https://www.webtoons.com/zh-hant/thriller/jinri/list?title\\_no=641&page=1](https://www.webtoons.com/zh-hant/thriller/jinri/list?title_no=641&page=1)